

2008合同会社説明会開催

新年早々、円高・株安・サブプライム問題など日本経済の不安材料のせいで、景気は「踊り場」と報道されている。

これが新卒者の採用に悪い影響を落とさなければよいがと心配しているが、今のところ採用にはどの企業も積極的である。

企業説明会には、昨年同様56社の協力を得ることができた。各社とも優秀な人材を求めて意欲的に本学の行事に協力いただき感謝している。(学生参加数150名)

企業アンケート結果を見ると、総合評価で「良かった」と満足していたで、時期・会場について「良い」90％の評価であった。

学生については、「明るく態度良好」「積極的で頼もしい」とうれしい評価をいただいた。

私は就職指導の折に、就職活動に必要な資質の第一歩は「笑顔」「明るさ」「礼儀」そして「積極性」と言っているだけに、企業の学生評価は第一関門通過に繋がるものと気を良くしている。学生側の感想は、「どのブースも親切で丁寧だった」「就職活動に自信がもてた」「身近で多くの企業を知ることができてHappyだった」ということだった。

就職部長 菊池定一

いわて5大学 シンポジウム開催



1月12日、盛岡市のいわて県情報交流センター(アイーナ)で、5大学の学長、副学長等の出席のもと、「いわて5大学共同シンポジウム」(いわて5大学学長会議主催)が開催された。

いわて5大学学長会議は平成12年度に設置され、5大学が輪番で会議を主宰し、大学間の協力関係において様々な共同行事を行っている。平成16年度で一巡し、平成17年度から二巡目になっている。

今年度は、原点に立ち返り「県民とともに歩む5大学」というテーマで岩手県内を中心とした地域社会に対し、岩手の大学の地域貢献を幅広くアピールすることを目的とした共同シンポジウムを開催しようとするものであり、各大学間の連携と地域貢献強化を確認した。

8回目を迎えたシンポジウムは、大学関係者や県民ら約200人が参加。各大学の取り組みの紹介の中で、本学からは、地域経済文化研究所所長の藤田康雄教授が「継続的地域貢献」について報告し、また、大学の魅力として就職支援活動を上げた。

来年度は、本学が幹事大学として花巻での開催を予定している。

ドリームズ・カム・トゥルー ～夢を実現するワークショップ～

「Dreams Come True ～夢を実現するワークショップ～」が(社)花巻青年会議所(JC)主催により2月24日(日)、花巻市のなはんプラザで開催された。

参加者は本学学生と花巻市の高校生の約70名、「市街地活性化」と「産業と観光振興」をテーマにまちづくりのアイデアを出し合った。

今回のワークショップは「次代を担う若者とともに、自分達のまちについて少しでも考え、小さな事で行動できる環境づくりをしていき、実際のまちづくりに活かし、行動していく」という活動目的を持っていた。

主催のJC佐々木信行理事長は、「若者らしいやわらかく、面白い発想が発表され、将来を担う若者とふるさとを考える良いきっかけとなった。今後も継続して参加をお願いし、活動を広げていきたい。」と語った。



富士大学大学院 公開講座開催



2月6日(水)本学631教室において、富士大学大学院公開講座が開催された。

講師には、一橋大学大学院教授の廣本敏郎先生をお招きし、「管理会計研究の最近の動向」をテーマとして、90分余りのご講演をいただいた。

聴講者は、地元経営者の方々や会計学に興味を持つ方、県内の商業高校の先生方、そして大学院生及び関係者150人ほどで熱心に聴講した。

「管理会計という時代に合った新しい技法や知識を扱う分野であるとの印象がある。しかし、時代や国境を越えて管理会計のコアにあるのは複式簿記や原価計算であり、それらの基礎知識が大切である。」と述べられた。

平成19年度 スポーツセンター利用状況

スポーツセンター(平成10年開設)は、平成19年4月にコンディショニングルームを新設するなど施設の充実を図りました。

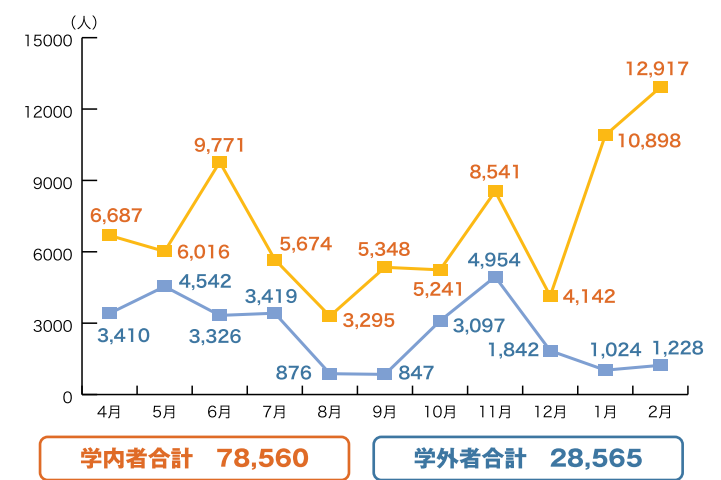
運動部やサークルの活動拠点としてはもちろん、全学生にも開放され、イベントなど幅広く利用されています。また、地域住民の利用も多く、県内だけでなく県外からの利用も増えていきます。



[主な利用状況]

学内…実技や運動部の練習、スポーツフェスティバル(学内体育祭)などで利用
学外…岩手スーパーキッズ発掘・育成事業 記録測定会(チャレンジ2)開催
ステラミーゴいわて花巻(日本フットサルリーグチーム)
各種競技の指導者講習会及び練習会・大会

平成19年度 学内・学外の利用状況



平成20年度 学事予定

4月	7月
3/31~4/4 5日 7日 7~11日 17~18日	22日 22~30日 31日 8月 30日 9月 1~5日 8日 12~14日 16日
在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 入学式 前期授業開始 在学生ガイダンス・履修登録・健康診断等 新入生学外オリエンテーション	図書館専門職員養成講習開始(～9月16日) 前期定期試験 夏季休暇(～9月5日) 図書館専門職員養成講習司書補閉講式 前期再試験 父母懇談会 後期授業開始 花巻まつり 図書館専門職員養成講習終了

OBから一言 眞山 弘海(平成12年卒) 宮城県出身 株式会社 ファミリーマート 勤務

「皆さん、大学生活を楽しんでいますか?」私にとって、富士大学は自分の道を切り開いた、思い出の場所です。

私は現在、株式会社ファミリーマートでスーパーバイザー(SV)職に就いています。主な業務として、フランチャイズ契約を結んだ加盟者の人生を支える為、個店毎のマーケット調査や商品開発、商品品揃え、利益管理指導。また、新規開店に至るまでの業務を行っています。岩手県内では今まで、7店舗ほど開店業務に携わっており、とてもやり甲斐の有る仕事です。

SVの仕事は「やりたい」と思ったのは、在学中にアルバイトをしていたコンビニがきっかけでした。その店舗で、全般業務を任せられ、経営に対して興味を持ったことが、私の道を決めたのだと今でも思っています。

今の仕事は在学中に学んだ、経営学や会計学、マーケティング、心理学等の分野が全て活かされています。大学で学んだ事が私にとって物凄くプラ

第7回 全国高校生童話大賞 表彰式

12月23日(日)、第7回全国高校生童話大賞表彰式が本学にて行われた。大賞(金の星賞)1名、優秀賞(銀の星賞)3名の受賞者が本学会場に招かれ、NHKをはじめとした来賓の方々から称えられた。

受賞者たちは、表彰式後に花巻農業高校生による躍動感溢れる「鹿踊り」を鑑賞し、市内研修として宮沢賢治記念館、童話村等を見学し、イーハトーヴ花巻の文化や賢治の思想に触れ、帰路に着いた。



金の星賞 (大賞)	山形県立新庄南高等学校…2年: 武田 啓太「鏡に映る夢」 ※男子学生としては初
銀の星賞 (優秀賞)	岩手県立福岡高等学校…3年: 石澤 咲希「ミコの大切な大切なものは」 東京都文化女子大学附属杉並高等学校…1年: 北山 萌夏「僕と狐」 大阪府大阪教育大学附属高等学校…2年: 柳原 実美佳「くすの木の下」

保健室から vol.2

近年、老若男女を問わず、ファーストフードやコンビニ弁当が多く食べられるようになりました。

それらがなぜ美味しく、かつもう一度食べたい気持ちになるのか知っていますか?

それは味付けにあります。一般家庭の味付けより濃い味になっているのです。だから口当たりが良く、旨みを感じるのです。スナック菓子も同様です。

では、なぜそれらの食べ物の取り過ぎがいけないのかと言うと、その中に含まれている食品添加物が問題なのです。

例えば、塩分は高血圧の原因に、着色料は消化減退・発がん性の増加、油の酸化は肝臓障害・下痢、そして乳化剤は腎臓・肝臓肥大、高カロリーは肥満原因になります。

病気の多くは口から摂取する食べ物が原因とされています。今一度、毎日の食生活、嗜好を見直しましょう。

FACE

富士大学

あなたへ、地域へ。一人ひとりに向き合って(FACE to FACEで)富士大の「いま」を伝えたい。そんな思いを込めて、富士大学広報誌をFACEと名付けました。

広報誌 FUJI UNIV. INFOMATION 2008.3.30発行

平成19年度 富士大学卒業式・大学院修了式

卒業生・修了生へのメッセージ
学部卒業生を代表して
2008合同会社説明会開催
いわて5大学シンポジウム開催
富士大学大学院公開講座開催
ドリームズ・カム・トゥルー
～夢を実現するワークショップ～

FUJI UNIV. CAMPUS TOPICS

努力重ね夢つかむ
玄本誠治(経済学科 平成19年度卒業)

大学で培ったことを活かしたい
佐々木瞳(経営法学科 平成19年度卒業)

理想の自分を目指して
豊澤博幸(経営法学科 平成19年度卒業)

卒業後もボランティア
活動を続けたい
～福祉・ボランティア実践証明書
第1号を励みに～
千田勇太(経営法学科 平成19年度卒業)

夢は国際的なビジネスマン
金星/暉(経済学科2年)

北京五輪に向けて

小沢みさき(経営情報学科 平成19年度卒業)

富士大スポーツ／主な大会結果
各クラブ春季合宿
平成19年度 スポーツセンター利用状況
第7回 全国高校生童話大賞 表彰式
保健室からVol.2
平成20年度 学事予定
OBから一言



平成19年度富士大学卒業式・大学院修了式

2007 Fuji University Graduation / Conferment ceremony of academic degrees



旅立ちの日に ～思い出を胸に～

快晴に恵まれた3月19日(水)花巻市文化会館において、平成19年度富士大学卒業式・大学院修了式が行われた。卒業生たちは、巣立ちの一時を共に喜び合った。式では、学部卒業生総代の佐藤健さん(経済学科)に卒業証書・学位記が、大学院修了生総代小野秀樹さん(大学院修士課程)に学位記が授与された。また、北京五輪代表候補の小沢みさきさんをはじめ、18名の卒業生が表彰(学長特別表彰・学業成績優秀賞・学術論文優秀賞・課外活動優秀賞)を受けた。

小山田学長から式辞で「皆さんは、社会に寄与する義務を負うことを自覚しなければならない。品格と社会への貢献、謙虚な心を持ち、人生を歩んでほしい」と激励のことが送られた。また、大石満雄花巻市長と美濃口武雄一橋大学名誉教授からは、社会へ羽ばたく卒業生へ祝福と励ましの祝辞をいただいた。

卒業生を代表して、山影光良さん(経済学科)は、「本学での様々な出会いから、大人への確かな一歩を踏み出せた。社会の一員として貢献していきたい」と答辞を述べた。

卒業生・修了生へのメッセージ

経営法学科長 石橋 恕篤

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんを卒業まで支援して下さったご両親・ご家族の方々に感謝の気持ちをお伝えしましたか。

さて、私は卒業される皆さんに「気力」という言葉を贈りたいと思います。辞書には、「気力」の意味を「積極的に活動を進める精神力」だと書かれています。「気力」は誰もが潜在的にもっている能力を表出するための大切な要素なのです。例えば、能力・才能が機械だとするならば、「気力」はこの機械を動かすモーターにあたります。ある本に書かれていましたが、この「気力」という言葉を野球監督の王貞治氏が好んで色紙に書くそうですし、また同氏が母校に贈った石碑にも「気力」という文字が刻みこまれていたそうです。皆さんが大学教育を受けて学問とその方法を学びとられたわけですが、学びとられたいわば能力を発揮するためには、この「気力」が重要であります。

これから社会に出ていく皆さんの将来には、平穏な日々ばかりではなく、試練のときもあることでしょう。しかし、この「気力」をもってすればこの試練を克服できるものと私は思っています。皆さんは健康に留意され、日々「気力」を充実させてお暮らしになられるよう希望して、私のお祝いの言葉とさせていただきます。ご活躍を期待しております。

学部卒業生を代表して

経済学科 佐藤 健

「継続は力なり」-この言葉は私が高校時代、恩師から教わったもので、以来、この言葉を自分のモットーとしています。

継続するというのは難しいことで、継続するには力(エネルギー)が必要で、肉体的・精神的にタフでなければなりません。しかし、その力は、継続することにより、身につく、また、周囲から認められることでアップします。私自身、大学に入り、毎日の講義に出席して本業である勉学を継続して行ってきたことで、自分が納得できる成績を残すことができたと思います。これからこの「継続」という言葉を胸に日々精進していきたいです。

また、卒業を迎えて大学生活を振り返ると、長いと思っていた大学での4年間は、あっという間に過ぎ去りましたが、その内容は充実したものでした。

在学する学生の皆さんは悔いが残らないよう動いてみて下さい。将来、必ず良い結果が出てくると思います。

FUJI UNIV CAMPUS TOPICS

努力重ね夢つかむ

玄本誠治(経済学科 平成19年度卒業)

今年2年目を迎えるプロ野球独立リーグBCL(ベースボールチャレンジリーグ)の富山サンダーバーズに入団となりました。

所属していた準硬式野球部は、私にとって、人生を変えてくれた最高の環境でした。中学・高校と補欠だった私は、「準硬式野球」と出会い、「今度こそレギュラーとして試合で活躍したい」と練習に励みました。自分を知ることで、自身を修正・改善・克服でき、結果として数々のタイトルを獲得しました。また、主将としての経験も人間的に大きな成長となり、改めて野球ができる喜び、楽しさを実感し、自信にも繋がりました。更には「もう一度硬式野球をやりたい」という将来的な夢・目標も明確となり、「自分に負けない、やればできる」という強い気持ちが支えとなりました。高橋監督にご指導いただいた事を忘れず、そして、支えてくださった多くの皆様への感謝を胸に、捕手として打者として、1日でも早く活躍できるように頑張ります。



大学で培ったことを活かしたい

佐々木瞳(経営法学科 平成19年度卒業)

この度、ソフトボール実業団チーム、大鵬薬品に入社することになりました。応援して下さった方々に感謝申し上げます。

私は、大学4年間「できないことをできないままにせず、人より努力する」ということを常に心に持ち日々励んできました。このことを自分なりに続けてきたことが実業団入りに繋がったのだと思います。

実業団でも、大学で培ってきたことを活かし、自分のできる最大限の努力をし、レギュラーを目指したいと思います。

私をここまで育ててくださった監督、コーチ、仲間、そして両親、応援して下さった方々への感謝の気持ちを忘れず、恩返しができる様に頑張ります。

先輩方が楽しそうにソフトボールをしている姿に惹かれ富士大学に入学し、私にとっても貴重な、充実した4年間でした。

本当にありがとうございました。



理想の自分を目指して

豊澤博幸(経営法学科 平成19年度卒業)

私は、平成14年度にスポーツ指導者を育成する専門学校を卒業し、現在ストレングスコーチ(※)として活動しています。

富士大学には、2つの目的を持ち、平成18年度に編入しました。目的の1つ目は、NSCA(全米ストレングス&コンディショニング協会)認定資格の受験資格を得ることです。NSCAにはパーソナルトレーナー(CPT)とストレングス&コンディショニングスペシャリスト(CSCS)という2つの認定資格があります。CPTは取得しましたが、4年制大学卒業の資格が必要なCSCSは受験できなかったのがこの受験資格を得ることが目的でした。

もう一つの目的は、経営学を学ぶことです。以前から総合型地域スポーツクラブに可能性を感じ、興味を持っていました。将来なんらかの形で関わりたいと思い、その際に経営学が活かせるのではないかと考えました。

大学生活では、ゼミや各講義、各先生方との出会いを通して、指導者、また人間として視野を広く・深くすることが出来ました。

卒業後も一指導者として地道に活動していくつもりです。今後とも勉強を重ね、更に質の高い指導を提供していきたいと思っています。

(※)様々なニーズに合わせて、身体能力向上のための指導を行う指導者のこと。



卒業後もボランティア活動を続けたい

～福祉・ボランティア実践証明書 第1号 を励みに～

千田勇太(経営法学科 平成19年度卒業)

私は、平成18年度に開設された「福祉経営コース」を履修し、200有余時間の社会貢献活動(ボランティア活動)を体験して福祉経営に関する勉学を深めました。

4年前、講義「人間社会とボランティア」で共生社会の構築と進展が21世紀社会の課題であることを学んで関心を抱き、3年生の時、幸運にも福祉経営コースが開設され、担当の石田教授や甲山先生の指導をいただいで実践研究に取り組みました。活動する時は常に利益追求の経済論理とその対極にある社会貢献のバランス感覚を身につけた経済人を目指すこと、多様な経験から広い視野で物事を考える力を身に付けること等を意識しました。結果として様々な人との出会いから社会貢献の意義を学び、実践を重ねる度に主体的な行動力が身に付いていったように思います。ある意味で自己変革が起こっていたのかもしれない。卒業を控えて、学長先生から福祉・ボランティア実践証明書をいただき、社会人になる私にとって計り知れない励みとなりました。就職予定の企業では地域貢献活動を行っているので、「私の出番」を積極的に作っていこうと思っています。



夢は国際的なビジネスマン



私は、韓国の釜山(プサン)広域市から来ました。来日した際は、日本語をよく理解できなかったため、講義についていくことが大変でした。しかし、本学の留学生の日本語講義や国際交流センターから様々な指導をいただき、結構上手に日本語を話せるようになり、現在は漢字と英語を勉強しています。

さらに学生寮で硬式野球部の学生やブラジルからの留学生と親しくなり、日本と韓国の文化の違いについて考えました。

入学して1年間日本語スピーチコンテスト、岩手県国際交流会、花巻市外国人交流会、そして本学で行われた花巻市長とのまちづくりについての意見交換など、いろいろな経験もできました。

私の将来の夢は、国際的なビジネスを行うことです。富士大学で学び、準備していれば夢を実現することができると信じて頑張っていきます。皆さんも頑張りましょう。

北京五輪に向けて 2008 Beijing Olympic

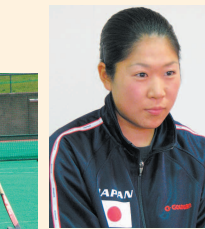
小沢みさき
(経営情報学科 平成19年度卒業)



日本女子ホッケー代表としての 小沢みさき選手世界大会記録

●沼宮内高校 ～ 富士大学2004まで
U 1 8 日本代表として海外遠征へ (高校3年)
U 2 1 日本代表として海外遠征へ (2004年10月)
シニア日本代表として海外遠征へ (2004年12月)

女子ホッケーチャンピオンチャレンジ大会
2005年7月8日～16日 アメリカ・バジニアビーチにて
3位 入賞



今年の8月8日、中国で北京オリンピックが開幕されます。私にとってもこの2008年は勝負の年であり、夢を実現するためにも特別な1年になります。

これまで、北京オリンピックでメダル獲得を目指す日本代表候補選手として、国内での強化合宿や大会を含む海外遠征等を積み重ねてきました。しかし、本選のオリンピックに出場出来る選手は16人、そしてコートの上に立ちプレー出来るのは11人に限られています。まず、その16人に選考されるように、そして試合に出場出来るように8月まで残っている時間は少ないですが、今自分のするべき事、精一杯の努力をしたいと思います。

また、こうして夢に向かい頑張れるのも、いつも支えて応援してくださる家族や仲間、監督、コーチ、たくさんの方々の存在があるからです。そういう方々への感謝の気持ちを大切に、メダル獲得に向けこれからも日々の練習に励みたいと思います。

第4回東アジア競技大会
2005年10月29日～11月16日 中国・マカオにて
優勝

第11回女子ワールドカップ予選大会
2006年4月25日～5月6日 イタリア・ローマにて
4位 入賞 (ワールドカップ出場権獲得)

第11回女子ワールドカップ
2006年9月27日～10月8日 スペイン・マドリッドにて
5位 入賞 (チャンピオンズトロフィ出場権獲得)

第15回アジア競技大会
2006年12月2日～14日 カタール・ドーハにて
準優勝

2008年北京オリンピック出場権獲得
第15回チャンピオンズトロフィ(世界6強大会)
2007年1月13日～21日 アルゼンチン・ブエノスアイレスにて
5位 入賞

第6回女子アジアカップ
2007年9月1日～9日 中国・香港にて
優勝 (日本女子ホッケー界初アジア制覇)

FUJI UNIV. Sports Club

富士大スポーツ/主な大会結果(2008年3月24日現在)

卓球部

全日本卓球選手権大会(県予選通過)
1月16～21日(東京:東京体育館)

男子 ダブルス 伊藤孝耶・小田桐憲仁組
シングルス 大木優輔
女子 ダブルス 佐々木孔子・兼子杏里組
シングルス 佐藤夏奈子・本田郁美組
混合 ダブルス 高好裕己・本田郁美組
伊藤孝耶・本田麻重組

第60回東京卓球選手権大会(県予選通過)

3月12～15日(東京:東京体育館ほか)
男子 ダブルス 高好裕己・北村翔
千葉貴大・大木優輔組
シングルス 北村翔
大木優輔
女子 ダブルス 佐藤夏奈子・本田郁美組
シングルス 本田郁美
高峯晨
佐藤夏奈子

第70回北日本卓球大会

1月26～27日(岩手:花巻市総合体育館)
男子団体 富士大学A 優勝 5年連続7度目
女子団体 富士大学 優勝 2年連続2度目



バスケットボール部

東北学生バスケットボール大会

12月15～17日(宮城:東北学院大学一泉体育館)
男子1回戦 富士大学 110 - 49 秋田県立大学
2回戦 富士大学 63 - 84 青森中央学院大学
女子1回戦 富士大学 137 - 25 岩手県立大学
2回戦 富士大学 63 - 110 仙台大学

Spring Camp

各クラブ春季合宿(2008年3月1日現在)

柔道部

男女 ◆韓国遠征合宿
3月3～8日(韓国:韓国国立体育大学)
男子 ◆全日本学生柔道合同合宿
2月19～23日(千葉:日本武道館研修センター)
◆関東遠征合宿
3月9～15日(東京:4大学予定)
女子 ◆遠征合宿
3月21～24日(東京:国士舘大学)

女子ソフトボール部

◆遠征合宿 - 熊野大会・熊野大学大会参加
2月16日～3月18日(三重:熊野市)
◆遠征合宿
3月21～30日(関東・関西)

陸上競技部

◆春季強化合宿
3月2～13日(宮崎:宮崎市総合運動公園)

ホッケー部

◆遠征合宿
3月2～7日(山梨:山梨学院大学ホッケー場)

準硬式野球部

◆遠征合宿 - オープン戦6試合予定
3月6～17日(静岡・関東)
◆遠征合宿 - オープン戦3試合予定
3月29～30日(宮城:東北工業大学球場)

硬式野球部

A班 ◆遠征合宿 - オープン戦22試合予定
2月18日～3月30日(九州・関西・関東)
B班 ◆遠征合宿 - オープン戦7試合予定
2月18日～3月30日(九州・北関東・南東北)



サッカー部

◆遠征合宿 - オープン戦予定
2月14～16日(栃木) / 3月4～9日(静岡・東京)
◆筑波サッカーフェスティバル
3月14～16日(茨城:筑波大学サッカー場)
◆遠征合宿 - オープン戦5試合予定
3月23～27日(大阪)